



愛川ふれあいの村2月の風景

平成25年 2月 自然のたより

昨年より10日ほど遅れてウメの花が咲き始めました。春の兆しを感じる時期になりましたが、雪が降った翌日には動物たちの足跡を確認できました。暦の上では春であってもまだまだ寒さは残っています。

＜2月の自然のエピソード＞

第一駐車場に、サルの群れを発見しました。大人と子どもあわせて20頭ほど。ダムを眺めながらドングリや木の皮を食べていました。普段は山の中にいるサルたちですが、どうやら今年は食料が少なく、村まで降りてきたようです。人が寄ってきても、ちらりと一瞥するだけで平然と食事を続けており、人に慣れていた様子でした。



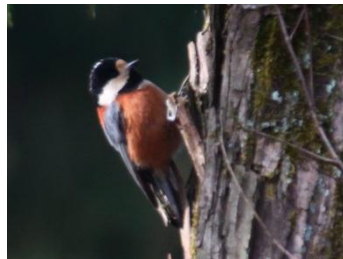
第一駐車場近辺に来たサル



タヌキの足跡



寒そうなモズ



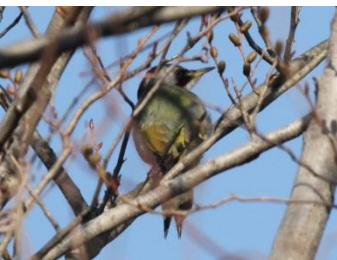
木をつつくヤマガラ



ヤブツを食べるマヒワ



飛ぶ瞬間のメジロ



アオゲラ



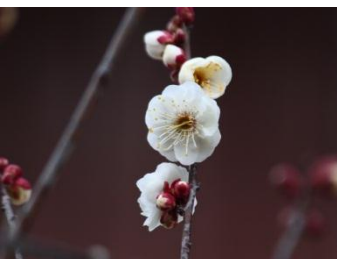
羽を休めているトビ



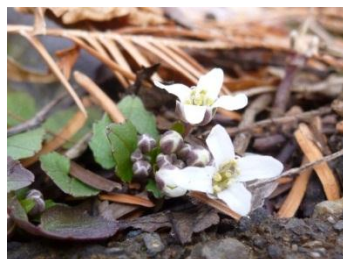
コウバイと雪



スイセン（有毒性）



一番に咲いたハクバイ



小さなユリワサビ



フデリンドウの葉



オニノゲシの綿毛